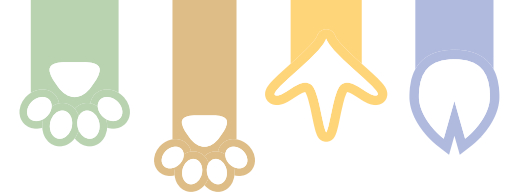




世界ではこんなことが起こっています



アジアであったこんな話

レプトスピラ症

洪水後、川で泳いで不明熱、感染源は細菌保有のネズミ。

鳥インフルエンザ(H5N1)

鶏での感染がアジア、ヨーロッパ、アフリカ等に拡大し、感染した鳥と濃厚に接触した人が感染し死亡。

鳥インフルエンザ(H7N9)

主に中国、香港、台湾で感染者が確認されている。鳥が感染源である可能性。

ニパウイルス感染症

オオコウモリのウイルスが豚に感染した後に、人は豚から感染して脳炎で死亡。

狂犬病

犬に咬まれて感染後に発症し、死亡。台湾で清浄化以来、52年ぶりにイタチアナグマでの流行を確認。

デング熱

流行地域で蚊に刺されることによりウイルスに感染し発症、まれに重篤なデング出血熱になることもある。

チクングニア熱

流行地域で蚊に刺されることにより感染する。感染地域もアフリカ、南アジアから東南アジアへと拡大している。

腎症候性出血熱

ネズミが病原体を保有し、その尿中に排せつ。発熱、出血傾向、腎障害を特徴とする風土病としてユーラシア大陸各地に定着。

日本であったこんな話

狂犬病

海外で犬に咬まれて感染した人が、日本に帰国して発症後、死亡。

オウム病

展示施設の従業員や来場者の間で集団発生。

エキノコックス症

キタキツネの糞中の卵に感染して20年後に発症。

腸管出血性大腸菌感染症

触れ合い動物施設に來場した人の間で集団感染。

Q熱、バスタツレラ症、猫ひっかき病、カブノサイトファーガ・カニモルサス感染症、コリネバクテリウム・ウルセランス感染症

犬、猫がふつうに持っている病原体で、過度の密接な接触によって感染。

レプトスピラ症

感染ネズミの尿で汚染された池や川で水遊びをして感染し、発熱。

サルモネラ症

ペットのミドリガメやイグアナ等の爬虫類から子供が感染し、重症に。

日本紅斑熱

温暖な太平洋沿いでマダニに咬まれて発症し、春と秋が発生のピークに。

結核

動物園のサルが感染し、安楽死処分に。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

野外でウイルスを持ったマダニに刺された人が感染

ヨーロッパであったこんな話

サルモネラ症

爬虫類のペットから、乳児が感染して死亡。

ダニ媒介脳炎

中欧で森林散策した後に、高熱を出して死亡。

野兔病

汚染地帯で、野ウサギやマダニから感染して発症。



北アメリカであったこんな話

狂犬病

コウモリから感染して発症後に死亡。まれに、発症したアライグマやスカunkに咬まれて感染。

ペスト

野生リス、プレーリードッグが感染源。死亡者もいる。

ウエストナイル熱

蚊が媒介するウイルス病、カラスの不明死に次いで人での発症。

ハンタウイルス肺症候群

致死率の高い呼吸器感染症、野生ネズミが感染源。

Bウイルス病

アジア産サルに咬まれ、唾液に潜んでいた致死性ウイルスに感染。

サル痘

アフリカから輸入した齧歯類からプレーリードッグに感染し、さらに人へ。

アフリカであったこんな話

エボラ出血熱、マールブルグ病

サルから感染した後に、人から人へ体液で感染。

サル痘

人がサルやリス等の野生動物から感染すると、天然痘に似た症状。

クリミア・コンゴ出血熱

動物やマダニから人が感染した後に、人から人へ院内感染。

ラッサ熱

西アフリカでヤワゲネズミ(マストミス)が媒介する病気。患者は毎年30万人。

中近東であったこんな話

ブルセラ症

ウシ等の家畜に触れたり、未殺菌乳を飲んで慢性感染。

炭疽

もともと病原菌は土壌に長期生存し、人は感染した動物から感染。

中東呼吸器症候群(MERS)

ヒトコブラクダが感染源として有力視されている。

オーストラリアであったこんな話

リッサウイルス感染症、ヘンドラウイルス感染症

コウモリ由来の新たなウイルス感染症により死亡者が発生。

中南米であったこんな話

黄熱

サルでの流行が見られる森林地帯で、感染サルを吸血した蚊に刺された人が感染。

狂犬病

吸血コウモリに咬まれて感染した人や家畜が発症して死亡。まれに、野生のサルも発症。

南米出血熱

南米諸国(アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、ペネズエラ)の野ネズミから感染。